

部局名	健康福祉部	所属名	長寿支援課	所属長名	小川 敏行	電 話	483-1151 内線2220
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9090		事務事業名称	認定調査事業						短縮コード	経常	9090	臨時			
予算区分	会計	35	介護保険事業特別会計		款	01	総務費		項	03	介護認定審査費		目	02	認定調査費	
区 分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等		介護保険法、八千代市介護保険規則								
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
平成12年4月の介護保険法施行により、介護保険制度における申請の受理から認定結果の通知まで、一連の業務を行う。																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして							
介護保険制度の浸透と高齢化が進む中、要介護認定者は増加傾向である。今後は、これまで同様に法改正等による認定調査、主治医意見書の見直しが予想される。							大項目（節）	03	社会保障							
							中 項 目	02	介護保険							
							小項目（施策）	02	保険財政の健全運営							
							細 項 目	01	財政運営の充実							
						実施計画の計画事業										
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	介護保険法に基づく要介護認定・要支援認定申請者、要介護認定区分変更申請者、要介護更新申請者、要支援更新申請者							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 1. 申請の受理 2. 主治医意見書の作成依頼 3. 認定調査の調整 4. 意見書・調査票の回収と点検 5. 認定結果の通知							
	※平成20年度に計画していること： 平成19年度と同じ							
意図 （何を狙っているのか）	申請受理から認定結果の通知まで、公正かつ迅速に行う。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	18年度	19年度		20年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	申請件数	件	4,743	5,100	4,126	5,500	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	認定調査件数	件	4,467	5,100	3,894	5,500	
	指標2	主治医意見書件数	件	4,490	5,100	3,899	5,500	
	指標3							
成果指標	指標1	審査件数／調査件数	%	94	100	94	100	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	9090	事務事業名称	認定調査事業				所属名	長寿支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			介護保険法に基づき、現状のまま継続していくことになるが、法改正による見直しの可能性はある。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			本事業の経費については、申請者数の増加に比例する為。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
適時の介護サービス利用を可能にする為、申請の受理から認定結果の通知まで、迅速に対応することが求められている。									

所属長コメント	このまま継続することが望ましい。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									